



(自分も小さい頃、そうだったのかなあと、かなり前のこと過ぎて到底思い出せませんが) 子どもたちは傘をさすのをいやがるというか、苦手というか…結構な雨でも「めんどくさい」と言って傘をささない姿を見かけることが多々あります。

先日、1年生の帰りの会を担当することがあり、さよならのあと、ちょうど雨がぽつぽつと降り始めました。なので、子どもたちに、「雨がひどくなるかもしれないので、置き傘を持っていきなあ」と伝えました。

すると案の定、「大丈夫だよ」とか、「めんどくさい」という返事が返ってきました。そこで、試しに「**持っていきなあ。雨にぬれたら、明日かぜひいて学校に来れなくなるよ**」と試してみました。

すると、「**やだあ。なら持ってく**」というA君の声。

A君のその声を聴いて思わず「**ありがとう**」と返してしまいました。

傘を持って帰るのに、ありがとうの返答は適切ではありませんが、学校に来られないことがいやだと思っているA君に対して、思わず出たありがとうございます。そして、わたくしの1日の疲れが、この一言で吹っ飛びました(また明日ね、A君)。

暖冬とは言え、やはり朝晩は寒いです。少し冷え込んだ朝の風景です。



その1

氷の塊と雪玉を持って一言

「朝ごはん、あんまり食べてこなかったから、これ食べながらきたんだよ」おなか、だいじょうぶ？

その2

わたしが「おはよう」というと口から白い息が出ました。それを見て

「湯気だあ。湯気だあ。おなべだあ」と朝からテンションマックス。元気いっぱいの子どもたち。



きれいな氷を大事そうに持ってきたB君。水を入れて玄関に置いておいたらできたそうです。

わたしはてっきり、教室でお友だちに見せるものだと思っていたら、なんと、こんなふうに下駄箱に入れてあり、なおかつ、自分ではない友だちの下駄箱に入っていました。なぜこのようになったのか？なぞが深まります。